



目次

わが国のばね鋼の進歩発展について〔特別講演〕……………阿部 芳平…2059  
 鉄鋼圧延および加工技術の高速化について〔特別講演〕……………加藤 健三…2065  
 鉄鋼精錬プロセスの歴史的発展を熱力学的に類比しながら将来を展望すると〔展望〕……………松永 久…2079  
 高温超電導酸化物のケミカルプロセッシング (I)  
 一固相プロセスと気相プロセス―〔解説〕……………塩原 融…2089  
 缶用表面処理鋼板の現状と今後の動向〔解説〕……………乾 恒夫…2097  
 回転電極法によるチタン合金粉末の製造〔解説〕……………磯西 和夫・時実 正治…2108

論文・技術報告

調湿炭部分装入法による乾留均一化の検討……………西岡邦彦・井上恵三・三浦 潔・陽田 潔…2116  
 水および水銀中へ吹き込まれたガスジェットのコア長さ……………伊藤公久・徳田昌則…2124  
 浴中ジェットの底叩き現象におよぼす制御板の効果……………伊藤公久・徳田昌則…2131  
 Fe-Cr-Ni 系鉄高濃度領域における液相面および固相面の計算……………山田 朗・梅田高照・木村康夫…2137  
 熔融 Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> および Ti<sub>2</sub>O<sub>3</sub> の表面張力と密度……………原 茂太・池宮範人・荻野和巳…2144  
 粘塑性構成式による高炭素低合金鋳塊の熱応力解析……………戎 嘉男・関根和喜・葉山益次郎…2152  
 結晶集合組織に基づく薄鋼板の変形特性の予測……………金武直幸・戸澤康壽…2159  
 塩化物浴鉄めっきへの隔膜電解プロセスの適用……………松原茂雄・中村尚文・高木一字・小見 崇…2167  
 Ti 合金の電子論に基づく結合次数と塩酸水溶液中における活性腐食速度との関係  
 ………………森下政夫・筑田昌宏・芦田喜郎・森永正彦・湯川夏夫・足立裕彦…2175  
 素粉末混合 Ti-6Al-4V 合金の疲労特性に及ぼす微視組織の影響  
 ………………萩原益夫・海江田義也・河部義邦・三浦 伸…2182  
 高 Cr フェライト系耐熱鋼の長時間加熱脆化と Laves 相析出に及ぼす Si および Mo の影響  
 ………………伊勢田敦朗・寺西洋志・吉川州彦…2190  
 鋼中硫黄の発光分光分析における炭素、珪素およびマンガンの影響  
 ………………仁部晴美・金子裕一・奥山祐治・浅沼吉郎…2198

International Symposium on Thermochemistry and Chemical Processing に出席して〔国際会議報告〕  
 ………………長坂 徹也…2206  
 ISO/TC 17/SC 1 (鉄鋼-化学成分分析方法) 第 13 回国際会議開催報告〔国際会議報告〕  
 ………………寺嶋 久栄・大槻 孝…2207  
 アジア NIES の工業の現状〔海外だより〕……………榎本 英彦…2209  
 第 120 回 (平成 2 年秋季) 講演大会および式典報告〔報告〕……………2211

コラム: 学会の会費と会員数……………2210 次号目次案内…………… N 394  
 コラム: 科学の論理と工学の論理……………2225 ISIJ International 掲載記事概要…………… N 394  
 編集後記……………2226 第 121 回 (春季) 講演大会講演募集…………… N 371  
 会告…………… N 371 「鉄と鋼」投稿規程……………巻末  
 鉄鋼技術情報センターだより…………… N 388 平成 2 年「鉄と鋼」索引……………巻末  
 日本鉄鋼協会記事…………… N 393

「鉄と鋼」投稿規程は本誌巻末に掲載いたしております。